
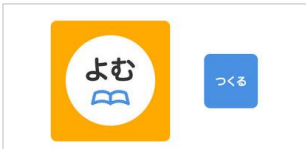
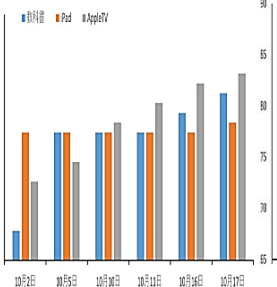
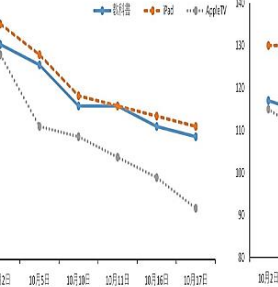
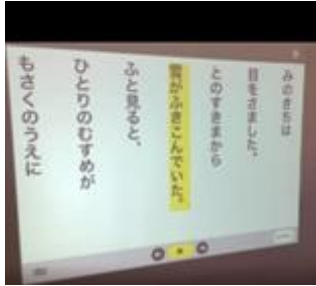



タイトル	文を読むことに困難さがある生徒への音読指導でのiPad活用		
学 校 名	茨城県立水戸飯富特別支援学校	学部・学年	中学部 1 学年
教科名等 単元・題材名	国語 「読んでみよう～ゆきおんな」		
児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> 対象児は男子2名。生活経験が少なく、電子機器に触れる経験もほとんどない。 平仮名、片仮名はほぼ読めるが、文を読むのが苦手で拾い読みになってしまう。指示理解力は高い。 		
授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「ゆきおんな」を音読することができる。 		
ICT 活用の ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ハイライト機能を用いることで、文を読む箇所や速さが視覚的に分かる。 	主に活用した アプリなど	<ul style="list-style-type: none"> iPad アプリ「よめるんです」 AppleTV
授業における 支援 授業展開	<p>○アプリ「よめるんです」について</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <ul style="list-style-type: none"> テキストを入力することで自由にハイライト機能のついた文章を作ることができる。 縦書きにも横書きにも対応している。 文字の大きさや太さ、行間、ハイライト機能の速度等がある程度変更できる。 <p>○支援の手立てと授業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真のように、文を短く区切って改行した。 速度は個人差に合わせて調整した。 読み上げ機能で示範し、読み方や速さを確認した。 ①教科書、②タブレット端末、③AppleTVでタブレット端末の画面をスクリーンに映し出して、それぞれ音読の練習を行った。 <p>○教科書の音読との比較（実証研究結果）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>T 正しく読めた文節の数 (個)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>k 正しく読めた文節の数 (個)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>T 読むのにかかった時間 (秒)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>k 読むのにかかった時間 (秒)</p>  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> AppleTV, iPad (タブレット端末), 教科書の順で正しく読むことができた。 速さについては個人差があるものの、AppleTVは有効であると考えられる。 <p>○学習の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> (写真 1) (写真 2) (写真 3) </div>		
児童生徒の変容	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して音読の学習をすることで、教科書での音読の技術が向上した。 タブレット端末等での成功体験によって自信がもてるようになり、他の授業等にも積極的に参加するようになった。 音読の技術が向上し、行事や集会等でのあいさつや「〇〇の言葉」等、学年や学級を代表して様々な原稿を読んで発表する場面が増えてきた。 		